

会社名 ヤンマーアグリジャパン(株)  
 担当部署 農機推進部  
 連絡先 06-6376-6264

技術(機械)名:密苗オート田植機  
 (ICT技術を活用した水稻栽培モデル)

概要

稲作経営規模拡大におけるオペレーター不足、新規就農者への技術伝承の課題に応えるべく、GNSSを活用した高精度な農作業を行うと同時に自動運転による大幅な軽労化を図る。

作物:水稻

対象作業:移植

効果

標準装備のタブレットによりほ場の登録が行える。その情報をもとに作業経路が自動で作成され、オペレータのタッチ操作のみで設定された経路を自動で作業することが可能。長時間作業による疲労を大幅に軽減。

250-300g/箱播き、5-6箱/10a移植による削減効果  
 →ハウス面積1/3、育苗・苗運搬・苗継時間1/3

写真、図表等



省力化・低コスト技術



オートトラクター



ロボットトラクター



密苗オート田植機

データを活用した営農支援



SA-Rシステム  
(データ蓄積)



圃場センシング  
(パツキ・生育状況)



情報支援機能付コンバイン  
(収量) \* 水分はオプション



可変施肥(プロキヤス)



可変追肥(無人ヘリ)